



新時代を拓く
Create a New History

FC Gifu

FC岐阜
株式会社岐阜フットボールクラブ
代表取締役社長

宮田博之氏

連載Vol.

35

「Jリーグは熱い！」

今年は4年に1度のサッカーの祭典ワールドカップが開催された年でした。6月の「2018 FIFA (国際サッカー連盟)ワールドカップロシア」では、世界200か国以上の各国から選抜された代表チームが予選に参加し、最後に残った32か国で競った結果、日本代表はベスト16となりました。夜中の好ゲーム続出しに寝不足気味の人もたくさんいたのではないのでしょうか。

サッカーに沸いたワールドカップイヤーの本年でしたが、国内のJリーグクラブでは更に熱い戦いが繰り広げられています。先月には、鹿島アントラーズが「AFCチャンピオンズリーグ2018 (ACL)」を制覇し、昨年の浦和レッズに続きJリーグクラブが2年連続でタイトルを掴みました。この大会は AFC (アジアサッカー連盟)によるアジア各国(東は日本から中東まで)の代表32のクラブチームによるアジアNO.1を決める大陸選手権です。日本からは前年のJ1リーグ上位3チームの川崎フロンターレ、鹿島アントラーズ、柏レイソルと天皇杯優勝チームのセレッソ大阪の計4チームが出場しました。

優勝した鹿島アントラーズは12月12日からUAE (アラブ首長国連邦)で開催される「FIFAクラブワールドカップ2018」にアジア代表として出場します。この大会は世界6大陸の大陸選手権代表と開催国で争われるまさにサッカークラブの世界一を決める大会です。今年はヨーロッパ代表としてあ

の名門クラブであるレアル・マドリッド(スペイン)の参加が決まっており、実力の上まっているJクラブの代表がどこまで戦えるのが楽しみです。

また、伝統あるカップ戦の「2018JリーグYBCルヴァンカップ」も、1年間の長い戦いを終えて2018シーズンの優勝クラブが決まりました。優勝クラブは湘南ベルマーレです。このカップ戦はJ1クラブ18チームとJ2クラブ2チーム(前年J1降格チーム)の全20チームでタイトルを争う大会です。湘南ベルマーレは昨シーズンJ2リーグを優勝し、今年J1に昇格したばかりのクラブですが、見事に昇格1年目でタイトルを獲得しました。

さて、J1リーグでは川崎フロンターレ、J2リーグでは松本山雅FC、J3リーグではFC琉球が優勝を決めました。いずれも最後まで目が離せない試合が続きました。

現在J2リーグには、全22チーム中半数以上のチームがJ1経験チームであり、毎年競争が激しくなっていますので、来シーズンのFC岐阜はより一層の強化をして、大木武監督のもと、より強く、より楽しめるチームになることを決意致しておりますので、皆様方の更なる応援をよろしくお願い申し上げます。



写真：©Kaz Photography/FC Gifu